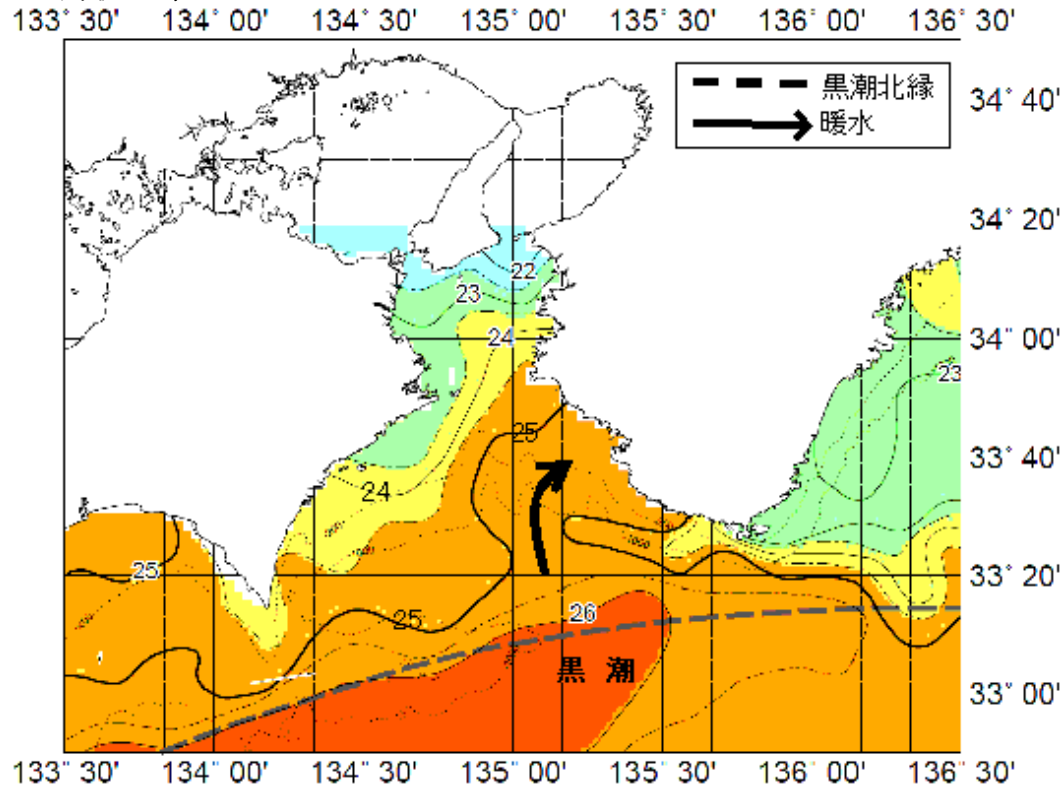


1. 海況の経過

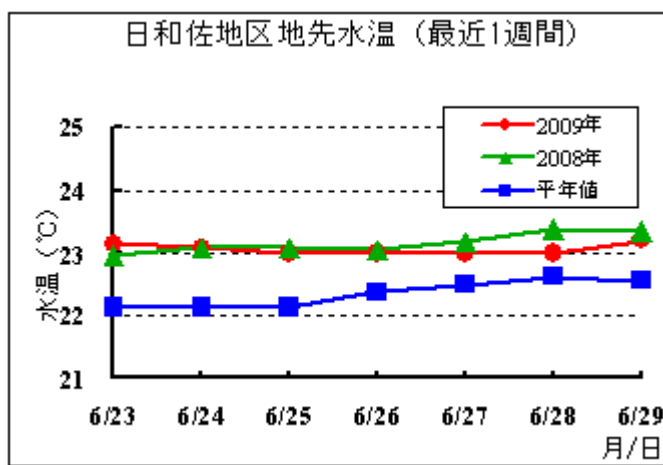
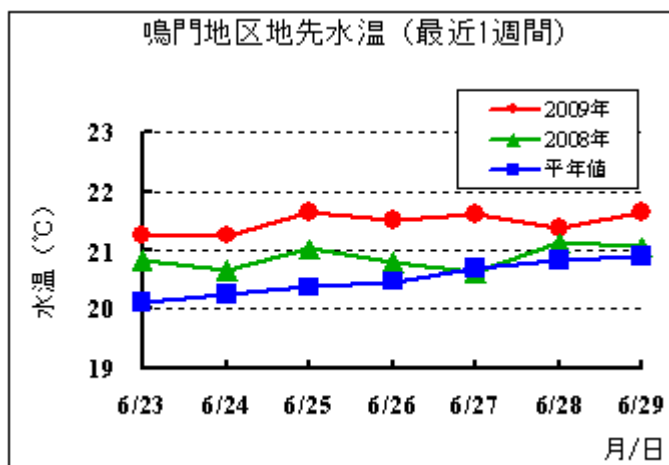


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.6.29)を示した。黒潮は、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖でかなり離岸している。黒潮本流の表面水温は25～26℃台である。表面水温は播磨灘が21℃台、紀伊水道が21～24℃台、紀伊水道外域が23～25℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県側に向けて暖水の波及がみられる。紀伊水道・海部沿岸の沖合では、黒潮系暖水と内海系水の潮目が形成されている。漁業調査船「とくしま」が6月25日に行った紀伊水道南部のクラゲ調査によると、アカクラゲ、ミズクラゲともに少なかった。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の21.2～21.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の23.0～23.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の23.0～23.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが2.1トン(1日1隻当たり122kg)、カマス類が0.3トン(同13kg)、キビナゴが0.3トン(同259kg)、トビウオ類が0.3トン(同18kg)、マアジが0.3トン(同6kg)、マイワシが0.3トン(同21kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にイサキが0.9トン(同79kg)、小主体にイボダイが0.3トン(同47kg)、小主体にウルメイワシが0.5トン(同99kg)、中主体にゴマサバが0.8トン(同115kg)、大主体にシイラが4.9トン(同542kg)、小小主体にマアジが4.5トン(同503kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアカムツが0.6トン(同15kg)、海部沖合で大主体にカツオが0.4トン(同379kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン(同14kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが1.7トン(同50kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 6月22日～6月28日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		ウルメイワシ	17	2,073	122	
		カマス類	26	336	13	
		キビナゴ	1	259	259	
		トビウオ類	18	322	18	
		マアジ	47	265	6	
		マイワシ	16	339	21	
大型定置網	海部沿岸	イサキ	11	870	79	大主体
		イボダイ	6	283	47	小主体
		ウルメイワシ	5	496	99	小主体
		ゴマサバ	7	802	115	中主体
		シイラ	9	4,879	542	大主体
		マアジ	9	4,528	503	小小主体
		アカムツ	41	604	15	大主体
釣り	海部沖合	カツオ	1	379	379	大主体
	紀伊水道	タチウオ	24	335	14	特大主体
パッチ網		シラス	33	1,650	50	

特異事項:

紀伊水道北部で、部分的にアカクラゲとミズクラゲが多い。

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬では「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の21℃台、日和佐地先で「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下、やや高め(やや低め):±0.50～1.49、高め(低め):±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め):±2.50以上